2018 WBF Championship "Senri-Series"



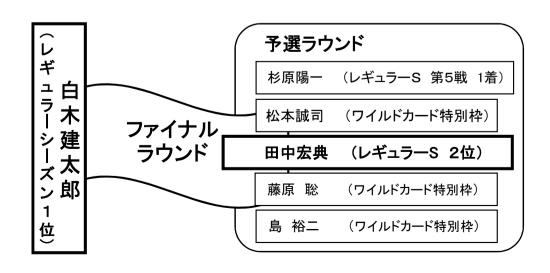
白木建太郎(レギュラーシーズン優勝) VS

田中宏典(ワイルドカード選出)

2018年の掉尾を飾るWB F千里シリーズは11月10日、WB Fの聖地'VEGAボウル曽根'で開催された。

レギュラーステージを圧倒的な成績で勝ち抜いた白木建太郎選手への挑戦権を賭けて 行なわれる予選ラウンド、出場者の欠席が多く、急遽シーズンポイント0だった選手も 特別ルールにより参戦、計5名で行われた。結果、シーズン2位で、関東軍ナンバー2 として、常に白木と共に活躍していた田中宏典選手が挑戦権を獲得した。

続いて、白木VS田中の関東軍両雄対戦となった3勝先取方式のファイナルラウンドでは、田中選手が圧倒的なパワーボウリングを発揮、粘る白木選手を振り切って、初めての千里シリーズ制覇を果たした。 【構成:松本誠司】



2018 WBF Championship "Senri-Series"

●予選ラウンド

田中選手ワイルドカードからファイナル進出!

関東軍ナンバー2田中宏典選手が、関東軍総裁へ挑戦状をたたきつけた!

今シーズン5冠王達成と圧倒的な成績でレギュラーシリーズを制した白木建太郎選手。 この白木選手への挑戦権を賭け、予選ラウンドは特別ルールで参戦した3名を含む5名 がエントリーし、2ゲーム制の試合が行われた。

第1ゲームでは藤原選手が3ストライク170点(素点144)がトップ。

続く第2ゲーム、杉原選手が2フレからターキー、松本誠司選手が3フレからターキーと、強豪選手が波に乗りかけた。しかしマイナス二桁ハンデのプレッシャーか、スプリットなどでスコアは伸びきれなかった。一方で関東軍副総裁・田中宏典選手はターキーこそ無かったものの着実にマークを重ね、フルマーク202(素点198)で1着。白木選手への挑戦権を獲得した。

関東軍ナンバー2として、常に白木選手に付き従っていた田中選手であったが、今、 隠し持っていた牙を剥く。

予選ラウンド結果

選手名	Gm	優P	入賞	得点	1	F	2	F	3	F	4	F	5	F	6	F	7	F	8	F	9	F	10	F	
藤原 聡	1	9	2着	144>>170	9	_	7		*		7	/	s7		*		7	1	*		9	/	6	3	
松本誠司	1	0		134>>120	7	_	9		9	/	s8	_	8		8	1	8	/	9	/	s8	1	9		
島裕二	1	0		88>>125	s7	2	4	5	6	1	4	4	1		3	1	7	1	G	\mathbb{Z}	5	2	s8		
田中宏典	1	0		154>>158	9	/	s7		8	\mathbb{Z}	s7	_	*		7	1	6	/	6	/	*		*	s7	-]
杉原陽一	1	0		152>>132	s8	1	s8	1	7	2	9		*		9	_	8	/	9		*		*	*	*
藤原 聡	2	0		134>>160	9	_	*		5	2	8	_	7		8		7		*		9		s8	1	
松本誠司	2	0	3着	180>>166	8	_	s8	1	*		*		*		9	\mathbb{Z}	9	_	8	\mathbb{Z}	7		*	s7	2
島裕二	2	0	5着	92>>129	s7	2	*		9	/	1	7	5	3	5	1	1	4	G	7	6	3	6	3	
田中宏典	2	14	1着	198>>202	*		*		8		*		9		9	\mathbb{Z}	*		8	\mathbb{Z}	*		6		1
杉原陽一	2	0	4着	182>>162	9	/	*		*		*		s6	1	s7	_	8		9		8	1	*	*	9]

※ 田中選手がファイナルステージ進出

◆ファイナルラウンド第1戦◆

田 中 選 手 総裁相手に堂々勝利!

田中選手はダブルスタートと好発進。一方の白木選手は左右に球が散ってスコアメイクにならない。田中選手も中盤に3スプリット4連続オープンと伸び悩み、両者は6フレで並んだのだが、終盤・田中選手がダブルで復活したのに対し、白木選手は波に乗れないまま終了となった。このゲームで8フレ直前に白木選手が「割れろ!」と呪文を唱えたのに対し、田中選手はストライクという最高の結果で術返しを果たしたのが印象的だった。

	***	8	~~~	***	&	***	***************************************	8	***	**		& &
白木建太郎	9-	8/	9/	8-	M	8/	7 -	9/	7 /	9-		-2
(シーズン優勝)	9	28	46	54	74	91	98	115	134	143		141
ハンデ込み		1-1									1 勝	HDCP
得点差⇒	↓ 25	↓ 26	↓24	↓ 22	↓11		↓2	↓5	↓14	↓ 25		競技点
田中宏典	×	X	8 /	6	⑦ 2	5 1	⑦ 2	8 /	X	M	8/	4
(シーズン2位)	28	48	64	70	79	85	94	114	142	162		166
	***	<u> </u>	***************************************	***************************************	&	***************************************	****	&	<u></u>	8		<u>&</u>

◆ファイナルラウンド第2戦◆

白木選手、安定スコアで逆転に成功

田中選手はターキーと最高の発進。一方の白木選手は、球筋が安定しないものの徐々にフォームが安定してきたか、マークを重ねるようになってきた。

田中選手は第1ゲーム同様、最高のスタートを切りながら中盤にスプリットやオープンがあり、 じわりじわりと迫る白木選手の追撃を許すことになった。余談だが白木選手はこのゲームでも呪 文を唱え、田中選手の後半唯一のストライクを引き出すこととなった。

	***	8	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	8	· ***********************************	***	***************************************	***	***	*		\$
白木建太郎	9/	6 /	8/	9/	9-	M	8/	M	8 /	M	8 /	-2
(シーズン優勝)	16	34	53	72	81	101	121	141	161	181		179
ハンデ込み									1 3	↑4	1 勝	HDCP
得点差⇒	↓ 20	↓31	↓ 32	↓31	1 38	↓ 26	↓ 15	↓11				競技点
田中宏典	M	X	M	9/	9/	6 2	9-	M	6 -	9/	9	4
(シーズン2位)	30	59	79	97	113	121	130	146	152	171		175
	8	*** *********************************	& C	8	*	8	***	*	***************************************			***************************************

◆ファイナルラウンド第3戦◆

田 中 選 手、ストライクラッシュで 王 手!

第2ゲームで逆転勝利を収めた白木選手は完全復調か、スタートからターキー発進。一方の田中選手は、スプリットスタートと、明暗はっきり分かれる第3ゲームの始まりであった。

4フレはともにオープン。ここが潮目だったか、4フレ後は全く逆の展開。白木選手は4フレを含めオープンが3つ、一方の田中選手は怒涛の4連続ストライク。これで一気に勝負を決まった。またまた余談だが、白木選手はこのゲームでも呪文を発動したものの連続ストライクで返された。こうなると、もう呪文ではなくエールである。

	<u> </u>	***	***************************************	***	2000	8	8	& &	<u>&</u>			%
白木建太郎 (シーズン優勝)	M	M	X	9-	7 1	8/	⑦ -	9/	9/	8/	M	-2
	20	37	56	65	73	90	109	128	146	166		164
ハンデ込み	↑5	↑ 4	↑ 4	↑4			•		• 1		1 勝	HDCP
得点差⇒					↓ 18	↓ 31	↓ 41	↓ 42	↓ 44	↓ 43	5	競技点
田中宏典	8 1	8/	8/	9	×	M	×	M	9/	H	9-	4
(シーズン2位)	9	27	46	55	85	115	144	164	184	203		207
	8	<u></u>	2000	2000	**** ********************************	***************************************	& &	***	& &	*	8	%

◆ファイナルラウンド第4戦◆

白木力尽き、田中選手初出場にして初V!

ストライク発進の田中選手、課題の中盤でもストライクを重ね、堂々のスコアメイク。一方の白木選手は、これまでの呪詛返しなのかビッグ4を含む大スプリット渦に巻き込まれ自滅する形となった。田中選手は参加4年目にして、千里シリーズ初出場、そして初優勝を果たした。

	& C	***************************************	8		888°	***************************************	8	888	8	~	**************************************	&
白木建太郎	9/	⑦ -	7 /	7 1	6 -	6-	M	8/	M	H	8/	-2
(シーズン優勝)	17	24	41	49	55	61	81	101	129	149		147
ハンデ込み											1 勝	HDCP
得点差⇒	↓7	↓8	↓ 19	↓31	↓ 45	↓ 68	↓68	↓64	↓ 44	↓ 41		競技点
田中宏典	M	8 —	M	M	8/	M	×	9/	6 2	9/	7	4
(シーズン2位)	18	26	54	74	94	123	143	159	167	184		188
	& C	**** ********************************	& &	***	8	8	<u></u>	8	888	***		& &



初出場・初優勝の田中選手

会社のボウリングサークルでもWBFでも 白木先輩の背中を見て、ここまでやってきま した。このような大舞台でご恩返しができる とは夢のようです。 最近アベレージも上がってきて、もしやとは 思っていましたが。前日から大阪入りし、会 場で練習投球をした甲斐があったというもの です。これからも驕ること無くパワーボウリン グに磨きをかけていきたいと思います。

◆はレギュラーシーズン優勝

関東軍決戦で惜敗した白木選手

「田中は俺が育てた」 その田中選手に敗れた。1勝がやっとだった。 接戦に持ち込めず、ギャラリーの皆様には申し 訳ないことをした。 自分で会場を決めておいてなんだが、私は この曽根会場とは相性がとても悪い。 来年も私の優勝は揺るぎないだろうから、次 の千里シリーズは東京で開催させてもらうこと にするよ。私の本当の力を見せるのはそのと きだ。

千里シリーズ過去の戦績

8					
	1989	松本誠司	4(000●0) 1	松本昌士
8	1990	奥山満夫	4(●●●○○○○)3	下永義久
	1991	松本誠司	4(00●00) 1	島裕二
∦×1	1992	松本誠司	4(0000) 0	島裕二
	1993	松本誠司	4(0000	0(田中寿美子
	1994	松本誠司	4(●○●○○○)2	島和男
3	1995	白木建太郎	4(●0000) 1	田中久
3	1996	野村正明	4(00●●△0●0)3	松本誠司
3	1997	杉原陽一	4(0000)0	松本香代
3	1998	松本誠司	4(0●0●00)2	白木建太郎
3	1999	松本誠司	4(0000)0	杉原陽一
3	2000	白木建太郎	4(0000)0	岩田修一
3	2001	杉原陽一	4(○●●○●○○)3	ロバート・K
	2002	白木建太郎	4(●●○○○●○)3	松本誠司
×2	2003	松本昌士	3(0●00) 1	松本誠司 ◆
3	2004	◆ 白木建太郎	3(○●●○△○)2	松本昌士
	2005	松本昌士	3(000)0	白木建太郎 ◆
3	2006	岩田修一	3(●●○○○)2	松本誠司 ◆
3	2007	◆ 杉原陽一	3(0●0●0)2	奥山満夫
	2008	奥山満夫	3(0●00) 1	島和男.com ◆
ĝ.	2009	◆ 杉原陽一	3(●000) 1	奥山満夫
ĝ.	2010	白木建太郎	3(00●0) 1	杉原陽一 ◆
ĝ.	2011	◆ 松本誠司	3(000)0	藤原聡
ž	2012	馬場毅	3(●0●00)2	白木建太郎 ◆
	2013	杉原陽一	3(0●00) 1	馬場毅 ◆
3	2014	杉原陽一	3(○●●○△○)2	馬場毅 ◆
3	2015	城戸秀行	3(000)0	白木建太郎 ◆
3	2016	杉原陽一	3(●000) 1	松本誠司 ◆
	2017	◆ 島和男.com	3(●00●0)2	ジョー・タカミ
	2018	田中宏典	3(○●○○) 1	白木建太郎 ◆
* 1	※ 1		 調事をしているため,総合 里G1クライマックス」として関		は島裕二と記録。
	Ж2		モロンフィマクスコミンでは 千里シリーズの実施方式が		.3勝先取で優勝。